

elle

RÉALISME  
Limi



2024 1.27 sat - 3.17 sun

企画展

# レアリズムの視線

— 戦後具象美術と抽象美術

岡崎中央総合公園内

岡崎市美術博物館

開館時間 | 10:00~17:00 (入場は16:30まで) 主催 | 岡崎市美術博物館、中日新聞社  
休館日 | 毎週月曜日、2月13日(火) ※ただし、2月12日(月・祝)は開館  
観覧料 | 一般 [ 高校生以上 ] 1,200円 (1,100円)、小中学生 600円 (550円)  
※展覧会限定フリーパス「Limi-pass(リミパス)」は1,800円 ※( )内は各種割引および20名以上の団体料金  
※未就学児は無料 ※岡崎市内在住・在学の小中学生は無料(証明書類をご提示いただく場合があります) ※各種障がい者手帳の交付を受けている方およびその介助者1名は無料

# レアリスムの視線

— 戦後具象美術と抽象美術

## ● 講演会

要事前  
申込

「1950年代の美術 一線描絵画とアンフォルメルを中心に」

講師 | 尾崎信一郎氏(鳥取県立美術館整備局 美術振興監)  
日時 | 2月18日(日) 14:00~15:30  
定員 | 50人 ※1度の申込みは2人まで。申込者以外の参加不可。  
応募多数の場合は抽選。

場所 | 当館1階セミナールーム  
参加費 | 無料 申込締切 | 2月2日(金) 必着

## ● トークサロン @YOUR TABLE

要事前  
申込

展覧会や作品について担当学芸員と気軽にお話しませんか?

日時 | 2月22日(木) 15:30~16:30  
定員 | 10人 ※1度の申込みは2人まで。  
申込者以外の参加不可。応募多数の場合は抽選。

場所 | 館内レストランYOUR TABLE  
参加費 | 1人2,000円(ワンドリンク+ケーキ付) 申込締切 | 2月2日(金) 必着

## ● ギャラリートーク

日時 | 2月12日(月・祝)、3月9日(土) 各日とも14:00~15:00  
場所 | 当館1階展示室 (開始時刻までに展示室入口前にお集まりください)  
担当 | 当館学芸員  
参加費 | 無料 ※ただし、当日の観覧チケットが必要です。

### 申込方法 ※講演会・トークサロン共通

- あいち電子申請(ネット申込)は当館HPから
- はがきでの申し込み

はがき裏面に ①参加を希望するイベント名 ②参加者全員の郵便番号・住所・氏名・年齢(学年)・電話番号を明記の上、お申込みください。  
※はがき1枚につき申込は1件まで。1度の申込みは2人まで。

申込締切 | 講演会・トークサロン共に2月2日(金)まで

申込先 | 〒444-0002  
岡崎市高隆寺町峠1 岡崎中央総合公園内  
岡崎市美術博物館「レアリスム展」イベント係

1. ベルナルド・ビュフェ《花と進化役者》1968年 静岡新聞社蔵
2. アルベルト・ジャコメッティ《鼻》1947年 大阪中之島美術館蔵
3. 田中敦子《作品》1959年 兵庫県立美術館蔵
4. 堀尾実《フォト・コラージュ》1967-72年 名古屋市美術館蔵
5. 白髪一雄《無題》1959年 豊田市美術館蔵

岡崎中央総合公園内

## 岡崎市美術博物館

〒444-0002 愛知県岡崎市高隆寺町峠1 岡崎中央総合公園内  
Tel 0564-28-5000 / Fax 0564-28-5005 <https://www.city.okazaki.lg.jp/museum>

HP

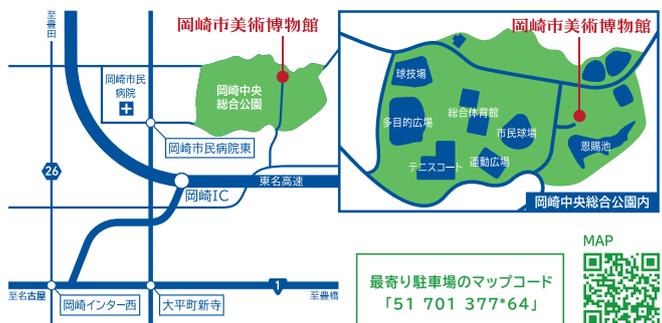


Instagram



### 交通案内

バス/名鉄東岡崎駅(北)バス乗り場②番から「中央総合公園」行き乗車、「美術博物館」下車、徒歩5分  
お車/東名高速道路「岡崎インター」から約10分 タクシー/名鉄東岡崎駅から約15分、JR岡崎駅東口から約25分



最寄り駐車場のマップコード  
「51 701 377\*64」

MAP



美術用語としての「レアリスム(仏)」あるいは「リアリズム(英)」という言葉は、日本語ではしばしば「写実主義」と訳されてきました。しかし、レアリスムは必ずしも具象表現だけを指すのではなく、「現実」を追求する作家の制作態度、内側の芸術性を追求していく抽象表現も含まれるのです。本展は、この「レアリスム」というキーワードから戦後の具象・抽象美術を

読み解くものです。具象美術ではベルナルド・ビュフェらが参加した

「オム・テモワン(時代の証人者)」というグループや、それと

同時代にフランス・パリで開催された「時代の証人画家展」というピカソや藤田嗣治らも参加した展覧会に

焦点を当てます。抽象美術では非定形を志向した

前衛芸術運動「アンフォルメル」と、この運動の提唱

者であるミシェル・タピエと交流のあった「具体美術協

会」を取り上げるとともに、抽象表現主義の画家に影響を

与えた「シュルレアリスム」を紹介します。また、欧米の美術運動に

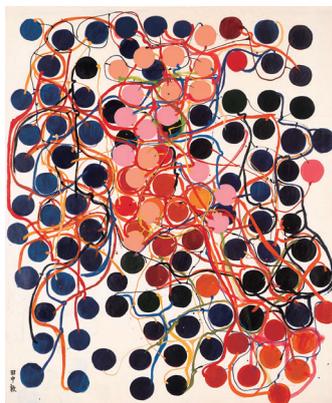
影響を受けつつも、独自に発展してきた日本の様相を概観していきます。

戦争を経験し、あるいは復興へと向かう激動の時代を生きた芸術家たち

によって描かれた様々な「現実」を是非当館でお楽しみください。



© ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2023 B0692



© Kanayama Akira and Tanaka Atsuko Association

